

用水・排水中の揮発性有機化合物試験方法

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	5.1.3 d)	水の一定量…。次に、マイクロシリンジを用いて、5.1.1 g)～h) のいずれかの標準液の 1 μL, 5.1.1 j) 5)～7) の…注入する。	水の一定量…。次に、マイクロシリンジを用いて、5.1.1 g)～i) のいずれかの標準液の 1 μL, 5.1.1 j) 5)～7) の…注入する。
	5.2.1.5 a)	5.2.1.1 d) の…5.2.1.1 e) の塩化ビニルモノマー標準液 0.1～5 mL 又は 5.2.1.1 f) の…調製する。	5.2.1.1 d) の…5.2.1.1 e) の塩化ビニルモノマー標準液 0.01～5 mL 又は 5.2.1.1 f) の…調製する。
	5.2.1.5 b)	5.2.1.4 a) の…水 10 mL につきこれらの標準液 1 μL 及び 5.2.1.1 j) の…操作を行う。	5.2.1.4 a) の…水 10 mL につきこれらの標準液 10 μL 及び 5.2.1.1 j) の…操作を行う。
	5.2.2.4 b)	a) のバイアルに…これに試料 1 mL につきメタノール 1 μL, 5.1.1 j) のいずれかの内標準液 1 μL…注入する。	a) のバイアルに…これに試料 10 mL につきメタノール 1 μL, 5.1.1 j) 5)～7) のいずれかの内標準液 1 μL…注入する。
	5.2.2.5 a)	5.2.2.1 d) の揮発性有機化合物混合標準液 (A) 0.005～2.5 mL, 5.2.2.1 e) の塩化ビニルモノマー標準液 0.025～2.5 mL 又は 5.2.2.1 f) の 1,4-ジオキサン標準液 0.25～2.5 mL を段階的に全量フラスコ 10 mL にとり…調製する。	5.2.2.1 d) の揮発性有機化合物混合標準液 (A) 0.01～5 mL, 5.2.2.1 e) の塩化ビニルモノマー標準液 0.05～5 mL 又は 5.2.2.1 f) の 1,4-ジオキサン標準液 0.5～5 mL を段階的に全量フラスコ 10 mL にとり…調製する。
	5.2.2.5 c)	b) のバイアルに…水 10 mL につきこれらの標準液 2 μL, 及び 5.1.1 j) 5)～6) のいずれかの内標準液 2 μL を、それぞれマイクロシリンジを用いて注入し…行う。	b) のバイアルに…水 10 mL につきこれらの標準液 1 μL, 及び 5.1.1 j) 5)～7) のいずれかの内標準液 1 μL を、それぞれマイクロシリンジを用いて注入し…行う。
	5.2.2.5 d)	別に空試験として…これら標準液に代えメタノール 2 μL を注入する。	別に空試験として…これら標準液に代えメタノール 1 μL を注入する。
	5.3.2.1 d)	全量フラスコ 25 mL にメタノール約 20 mL を入れ、これに c) の揮発性有機化合物混合標準液 1 mL をとり…加える。	全量フラスコ 25 mL にメタノール約 20 mL を入れ、これに A.4 ag) の揮発性有機化合物混合標準液 1 mL をとり…加える。
	5.6.3 g)	この溶液に 5.6.1 f) 2) の 4-ブロモフルオロベンゼン内標準液 (C ₆ H ₄ BrF: 100 μg/mL) 50 μL を加え、振り混ぜる。	この溶液に 5.6.1 f) 2) の 4-ブロモフルオロベンゼン内標準液 (C ₆ H ₄ BrF: 100 μg/mL) 10 μL を加え、振り混ぜる。

平成 29 年 1 月 1 日作成